

国・県・市の
施策

〈志布志市学校教育理念〉
【基本理念】きらり輝く三つの教え
○煮しめ（個性の伸長）
○つけあげ（確かな変容）
○にぎりめし（感謝の心）

保護者，地域の願い

【目指す学校像】時を守り，場を清め，礼を正す

【学校教育目標】

『夢と志』をもち，協働し，よりよく生きる生徒の育成

【目指す生徒像】

【校訓】 自主 友愛 奉仕
(キャッチフレーズ)
・ 「夢と志」実現に向けて，切磋琢磨する志中生
・ 「人，もの」に優しい志中生
・ 「前へ」成長を続ける志中生

【目指す教師像】

個々がプロ意識をもち，楽しい職場
(1) 授業で勝負する教師
(2) 生徒を愛し育てる教師
(3) 協働し，職務を遂行する教師
(4) 明るく，信頼される教師
(5) 学び続ける教師

重点目標

I 確かな学力の向上

II 心に届く生徒指導の推進

III キャリア教育の充実

IV 安心・安全な
学校づくり

V 信頼される学校
づくり

努力点と具体策

I 確かな学力の向上

- 基礎・基本の定着と学びに向かう力の育成(指導方法改善)
 - ア 学業指導の共通理解と実践
 - イ 課題解決学習の工夫
 - ウ 演習問題の活用
- 個に徹する指導等の工夫
 - ア 習熟度や興味・関心差に応じた指導の工夫改善
 - イ 授業におけるICT機器の有効活用
 - ウ 教科部会の活性化(指導法等の相互研修:月1回以上の実施)
- 学習時間の確保
 - ア 授業時間の確保(チャイムと同時の授業開始, 終了)
 - イ 家庭学習の質の向上と量の確保(平日:120分, テスト前:学年+1時間, スクリーンタイムは60分以内)
 - ウ 志学教室等の積極的活用促進
- 研修の充実
 - ア 校内研究授業・授業研究を通した目指す生徒の姿の共有
 - イ 「考え, 討議する道徳」とローテーション授業の実施継続
 - ウ 校外研修等への積極的な参加と還元
 - エ 小中連携教育の研究推進, 小中連携部会の工夫

II 心に届く生徒指導の推進

- 行きたくなる学校づくりの継続・推進
 - ア 「プロジェクトS」のさらなる充実
 - イ 教師の先手のあいさつと生徒のマナー向上
- 組織としての対応
 - ア 生徒指導部会による連携強化
 - イ スズキ校務等の活用
- 生徒会活動の充実と自力解決力の育成
 - ア 生徒会, 学級生徒会による自主的活動の支援
 - イ 清掃活動の充実
 - ウ ボランティア活動の促進と激励

III キャリア教育の充実

- 体験活動や講話等の段階的な実施
 - ア 計画的, 意図的な進路学習の充実
 - イ 職業観・勤労観を養う啓発的体験の推進
 - ウ 自らの良さを伸ばす進路指導の推進
 - エ 地域人材を活用した進路学習
- 小中高連携
 - ア 小中連携の形態, 内容の工夫
 - イ 高等学校との連携

V 信頼される学校づくり

- 組織の活性化
 - ア 定期的な係会の開催による校務分掌の機能化
 - イ 教育課程に基づく1年間を見通した計画的な活動
 - ウ 学校評価等の分析と活用
 - エ 服務規律の厳正確保による信頼される教職員集団の形成
- 業務改善の促進によると生徒と向き合う時間の確保
- 保護者・地域と共にある学校づくり
 - ア 本校の実態と課題に即したPTA活動の工夫
 - イ 学校運営協議会, 地域団体との協力体制の確立
 - ウ 市(地区)行事等への積極的参加促進
 - エ スピード感をもった広報活動(学校便り, HP)の推進

IV 安心・安全な学校づくり

- 人権教育の充実と推進
 - ア Momを踏まえた生徒理解と適切な対応
 - イ 人権尊重の態度の育成
 - ウ 「道徳の授業」実践, 研修の推進
 - エ 学校便り等を活用した保護者等への積極的な広報, 啓発
- 特別支援教育の推進
 - ア 特別支援教育への全校支援体制の確立
 - イ 特別支援教育に関する研修の充実と推進体制の強化
 - ウ 保護者, 就学指導委員会等との連携強化
 - エ 支援学級以外の生徒への共通理解と支援の共通実践
- 健康・安全教育の充実及び生徒の体力向上
 - ア 感染症対策など生徒の健康に留意した保健指導の充実
 - イ 各種防災・安全教育の推進と危険予知能力の育成
 - ウ 保健・安全情報提供及び関係機関との連携による受診率向上
 - エ 自転車通学生を中心としたマナーアップと安全指導の充実
 - オ 体育指導を中心とし, 家庭と連携した生徒の体力向上

人権教育はすべての教育の基本